鳥取市補助金カルテ 担当課 生活福祉課 l107 NO. 外線 10857-20-3472 予算措置 令和7年度 当初予算 |適合性判定||今後見直しが必要 補助金名 |鳥取市戦没者遺族および戦傷病者に対する援護活動補助金 戦没者遺族会の活動費補助。 概要 補助金区分団体運営費補助 |鳥取市第11次総合計画(施策1403)地域福祉の推進 根拠法令 創設年度 H13 終期 |終期設定なし ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 民生費 項 社会福祉費 社会福祉総務費 目 歲出事業名遺族会等社会福祉団体補助金 160千円 R7予算 決算額 件数 過去実績 (千円) 鳥取市遺族連合会(旧市内、国府、用瀬、佐治地域が対 象) R 6 対象経費 1,001千円(事業費)-841千円(市補助金以外の 1 160 (見込) R7予算 収入) 積算根拠 212 **R** 5 1 110 **R4 R3** 116 補助率・補助額 |10分の10 上限額 |設定なし 特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ) ○ 補助金交付対象、要件、方法 鳥取市遺族連合会 交付先 戦没者の慰霊と戦没者の遺族及び戦傷病者に対する援護活動の促進を目的として組織された 団体 交付要件 事務、会議、研修に関する経費 対象経費 精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。 実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。 ○ 団体運営補助の状況 ○ 補助対象経費に含まれる費用 団体運営費補助 0 人件費 積立金 交際費 出資金

運営費に占める

補助金の割合

繰越金の有無

10.9%

有

慶弔費

飲食費

懇親会費

貸付金 寄附金

他団体助成金

○ 適合性チェック(適正化評価)

	適正化の視点	番号	基準		判定
合規性	事務が法令等に従って 適法に行われているか どうか。	01-01	根拠となる「計画」や「法	令」がある	0
口戏性		01-02	補助金交付要綱等を設けている		0
		02-01	交付先団体には補助金額を 金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合の		0
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と		0
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する ³ れている	領収書等が添付さ	0
3 E		02-04	原則として補助対象外とす 費、交際費等)に補助金を	べき経費(人件 交付していない	0
	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要		×
		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある		0
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定している		×
	[有効性] 所期の目的を達成し効 果を上げているか。	02-08	終期設定がある		×
		02-09	効果目標の設定がある		0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない		0
	[公平性] 事務執行が公平になさ れているか。	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(過去3年のうち、2回以上同額交付とはなっていない)		0
公平性		04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担 当課が事務局を担っていない)		0
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業の 目的や内容を広く公開している)		0
	•			不適合の数	3
				評価対象項目数	15

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由				
合規性	-				
3 E	2-6 遺族会の活動を支援する必要があるため。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。				
公益性	_				
公平性	_				

評価/担当課	適切	
今後の具体的な 改善方針	-	

審查/行財政改革課	今後見直しが必要
意見	補助率が1/2以上であり、上限額の設定がない。

鳥取市補助金カルテ 担当課 生活福祉課 1108 NO. 外線 10857-20-3472 予算措置 令和7年度 当初予算 |適合性判定||今後見直しが必要 補助金名 鳥取市戦没者慰霊祭事業補助金 |社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会が実施する「戦没者慰霊祭」の開催費補助。 概要 補助金区分イベント・行事等に関する補助 |鳥取市第11次総合計画(施策1403)地域福祉の推進 根拠法令 終期設定なし 終期 創設年度 IH26 ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 民生費 社会福祉費 目 |社会福祉総務費 項 歲出事業名鳥取市戦没者慰霊祭事業補助金 1,088千円 R7予算 決算額 件数 過去実績 (千円) ・鳥取 411千円 ・国府 125千円 ・河原 70千円 |瀬 192千円 ・佐治 290千円 R 6 1,377 6 (見込) R7予算 積算根拠 **R** 5 6 1,088 1,003 **R4 R3** 749 補助率・補助額 10分の10 上限額 |設定なし 特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ) 〇 補助金交付対象、要件、方法 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会 交付先 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会が行う戦没者慰霊祭事業 交付要件

|慰霊祭の開催に関する経費(事務、会場設営、謝金および食糧費(供物に限る))

対象経費

精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。

実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。

○ 団体運営補助の状況

4 1111-22-2 17 (17 0

団体運営費補助	非該当
運営費に占める 補助金の割合	_
繰越金の有無	-

○ 補助対象経費に含まれる費用

人件費	_	積立金	-
交際費	_	出資金	-
慶弔費	_	貸付金	-
飲食費	_	寄附金	-
懇親会費	_	他団体助成金	-

	適正化の視点	番号	基準	判定
合規性	事務が法令等に従って 適法に行われているか どうか。	01-01	根拠となる「計画」や「法令」がある	0
		01-02	補助金交付要綱等を設けている	0
		02-01	交付先団体には補助金額を超える恒常的な資金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合のみ判定	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と同一年度に行って	0
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する領収書等が添付さ れている	0
3 E		02-04	原則として補助対象外とすべき経費(人件 費、交際費等)に補助金を交付していない	0
SE	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要	×
		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある	0
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定している	′ ×
	[有効性] 所期の目的を達成し効	02-08	終期設定がある	×
	果を上げているか。	02-09	効果目標の設定がある	0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない	0
公平性	[公平性] 事務執行が公平になさ れているか。	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(過去3年のうち、2回以上同額交付とはなっていない)	
		04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担当課が事務局を担っていない)	0
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業の目的や内容を広く公開している)	0
			不適合の数	3
			評価対象項目数	14

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由				
合規性	_				
3 E	2-6 遺族会の活動を支援していく必要があるため。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判 断。				
公益性	-				
公平性	-				

評価/担当課	適切	
今後の具体的な 改善方針	_	

審查/行財政改革課	今後見直しが必要
	補助率が1/2以上であり、上限額の設定がない。
意見	

鳥取市補助金カルテ 担当課 生活福祉課 l109 NO. 外線 10857-20-3472 予算措置 令和7年度 当初予算 適合性判定 今後見直しが必要 補助金名 鳥取市精霊送り事業補助金 |社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会が行う精霊送り補助事業の事業費を補助。 概要 補助金区分イベント・行事等に関する補助 根拠法令 |鳥取市第11次総合計画(施策1403) 地域福祉の推進 |終期設定なし 創設年度 H19 終期 ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 民生費 項 社会福祉費 目 |社会福祉総務費 歳出事業名鳥取市精霊送り事業補助金 153千円 R7予算 決算額 件数 過去実績 (千円) 過去実績から算出。 R 6 1 153 (見込) R7予算 積算根拠 **R** 5 153 1 153 **R4 R3** 108 補助率・補助額 |10分の10 上限額 |設定なし 特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ) 〇 補助金交付対象、要件、方法 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会 交付先 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会が行う精霊送り事業 交付要件 |会場使用料、会場経営等の経費 対象経費 精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。 実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。 ○ 団体運営補助の状況 ○ 補助対象経費に含まれる費用 人件費 積立金 団体運営費補助 非該当

交際費

慶弔費

飲食費

運営費に占める 補助金の割合

繰越金の有無

出資金

貸付金 寄附金

他団体助成金

	適正化の視点	番号	基準	<u> </u>	判定
合規性	事務が法令等に従って 適法に行われているか どうか。	01-01	根拠となる「計画」や「	法令」がある	0
口况江		01-02	補助金交付要綱等を設け	補助金交付要綱等を設けている	
		02-01	交付先団体には補助金額金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合	1	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度 いる	と同一年度に行って	0
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証す れている	る領収書等が添付さ	0
3 E		02-04	原則として補助対象外と 費、交際費等)に補助金		0
3 E	[効率性] 事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要		×
		02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある		0
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定している		×
	[有効性] 所期の目的を達成し効 果を上げているか。	02-08	終期設定がある		×
		02-09	効果目標の設定がある		0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない		0
公平性	[公平性] 事務執行が公平になさ れているか。	04-01	補助金の交付額は長期間 去3年のうち、2回以上同 ない)		×
		04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担 当課が事務局を担っていない)		0
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業の 目的や内容を広く公開している)		0
	•		•	不適合の数	4
				評価対象項目数	14

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由
合規性	_
3 E	2-6 市社会福祉協議会が本事業を担っており、補助金なしでの事業実施が困難であるため。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判断。
公益性	_
公平性	4-1 市社会福祉協議会が本事業を担っているため。

評価/担当課	適切	
今後の具体的な 改善方針	-	

審查/行財政改革課	今後見直しが必要	
意見	補助率が1/2以上であり	、上限額の設定がない。

鳥取市補助金カルテ **I**110 担当課 生活福祉課 NO. 外線 10857-30-8694 適合性判定 今後見直しが必要 予算措置 令和7年度 当初予算 補助金名 青谷町戦没者慰霊祭事業補助金 青谷町戦没者慰霊祭の開催経費を補助。 概要 補助金区分イベント・行事等に関する補助 根拠法令 |鳥取市第11次総合計画(施策1403)地域福祉の推進 |終期設定なし 創設年度 H17 終期 ○ 予算科目、財源、補助金の推移 款 民生費 項 社会福祉費 目 |社会福祉総務費 歲出事業名鳥取市戦没者慰霊祭事業補助金 289千円 R7予算 決算額 過去実績 件数 (千円) 過去の実績から算出 R 6 1 289 (見込) R7予算 積算根拠 **R** 5 289 1 289 **R4 R3** 150 補助率・補助額 |10分の10 上限額 |設定なし 特定財源 なし(一般財源、基金繰入のみ) ○ 補助金交付対象、要件、方法 青谷町遺族会連合会 交付先 青谷町遺族連合会が行う戦没者慰霊祭事業。 交付要件 |慰霊祭の開催に関する経費 対象経費 精算方法 | 交付決定の年度内に補助額を確定し、精算する。 実績確認 |実績報告書に添付の領収書や事業内容が判別できる資料等で確認する。 ○ 団体運営補助の状況 ○ 補助対象経費に含まれる費用 人件費 積立金 団体運営費補助 非該当 交際費 出資金 運営費に占める 補助金の割合 貸付金 慶弔費

飲食費

繰越金の有無

寄附金

他団体助成金

	適正化の視点	番号	基準	判定
│ 合規性 │ ┆	事務が法令等に従って 適法に行われているか どうか。	01-01	根拠となる「計画」や「法令」がある	0
		01-02	補助金交付要綱等を設けている	0
事		02-01	交付先団体には補助金額を超える恒常的な資金(内部留保資金)はない ※団体運営費補助の場合のみ判定	-
	[経済性] 事務が経済的に行われ	02-02	補助金の精算は交付年度と同一年度に行って いる	0
	無駄がないか。	02-03	実績報告に事業費を証する領収書等が添付さ れている	
		02-04	原則として補助対象外とすべき経費(人件 費、交際費等)に補助金を交付していない	0
JL	[効率性]	02-05	補助率は1/2以下である ※該当する場合、02-06と02-07は判定不要	×
	事務が効率的に行われ 生産性が高いか。	02-06	補助率が1/2を超える合理的な理由がある	0
		02-07	補助率は1/2を超えているが、上限額を設定 ている	U ×
_	[有効性] 所期の目的を達成し効・ 果を上げているか。	02-08	終期設定がある	×
		02-09	効果目標の設定がある	0
公益性	対象事業に公益上の必 要性はあるか。	03-01	特定の者の利益となっていない	0
公平性方	[公平性] 事務執行が公平になさ	04-01	補助金の交付額は長期間固定化していない(去3年のうち、2回以上同額交付とはなってい ない)	
	れているか。	04-02	交付団体の事務局委任を受けていない(市担当課が事務局を担っていない)	
	[透明性] 市民に対して事業の目 的や内容について広く 公開しているか。	04-03	検証結果を公開している(市民に対して事業 目的や内容を広く公開している)	0
			不適合の数	3
			評価対象項目数	14

	適合性はないが、補助金を交付する合理的な理由		
合規性	_		
3 E	2-6 遺族会の活動を支援していく必要があるため。 2-8 効果検証のうえ継続の有無を判 断。		
公益性	-		
公平性	-		

評価/担当課	適切	
今後の具体的な 改善方針		

審査/行財政改革課	今後見直しが必要	
意見	補助率が1/2以上であり。 	、上限額の設定がない。